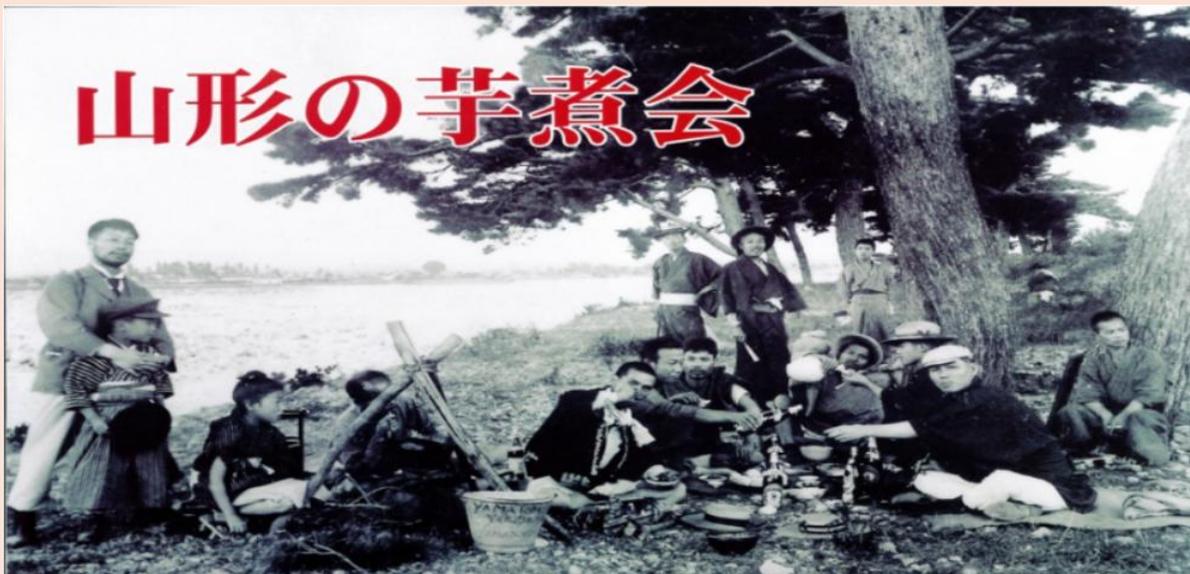


山形の芋煮会



芋煮の発祥

芋煮の歴史は、江戸時代から始まったといわれます。

芋煮は、馬見ヶ崎川と最上川で食べられたといわれています。

最上川では、氷や紅花などを運ぶ重要な水運の川でした。船でもっと運ぶ人たちは、川沿いで待ち時間を過ごすことが多くありました。そのさい、河原で手に入りやすかった里芋などを煮て食べたことが最上川芋煮の発祥です。

みしまみちつね

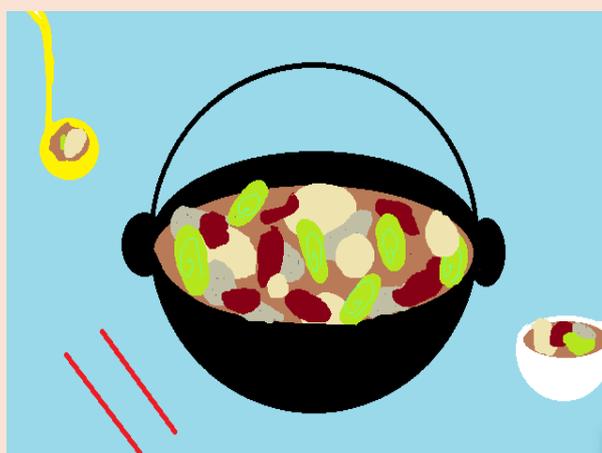
馬見ヶ崎川でどうして芋煮が食べられるようになったかということ、三島通庸が「堤防を作って」と命令をしました。そうなったので各家庭から一人必ず工事を手伝うことになりました。その工事にお昼にちゃんこ鍋風の芋煮を食べていました。

はじめは、牛肉を食べるのが禁止だったけど食べられるようになりました。けれども牛肉を食べるのに慣れていなかったため、お肉屋さんあまり売れませんでした。だからお肉屋さんが牛肉を使った芋煮を作り、工事をしている人達にお裾分けをしました。そうして、食べてみるととてもおいしかったため牛肉を入れる芋煮になりました。それが始まりです。

愛されている芋煮

芋煮は美味しくて県民からも愛されていますよね！

それには理由がいっぱいあります。



一つ目の理由は山形市では年に一度の芋煮会があります。河原の所で6・5mの鍋で芋煮を食べます。

二つ目の理由はスーパーなどで芋煮のことが宣伝されていることです。スーパーでは看板や無料で貸し出しされています。それは芋煮が愛されている証拠なのです！

他にも理由はあります。それは具材を作っている人がいることです。なぜなら材料がなければ作れないし芋煮を残すことができません。だから芋煮は山形の人に愛され続け守られてきました。

まだまだいっぱい愛されている理由はあるけど皆さんも探してみてくださいね！

